ONKYO®

SE-U55GX

USBデジタルオーディオプロセッサー

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

本機の特長

■24bit/96kHzの信号処理対応＆録音/再生とも高SN比を実現

24bit/96kHz信号処理に対応し、D/Aコンバータ、A/Dコンバータにそれぞれ専用チップを採用することで音楽再生時のSN比110dBを実現。A/DコンバータにはSN比106dBの高性能なサウンドチップを採用し再生音質はもちろん録音時のクオリティも大幅に向上させています。

■USBオーディオでは初採用、ジッター値を大幅に低減する内部水晶クロック同期

従来のUSBオーディオ機器ではパソコンのクロックに同期させていたため信号伝達の時間的ズレで生じるノイズ、ジッター（波形の揺らぎ）値が通常のオーディオ機器の数十倍になっていました。SE-U55GXでは水晶クロックを本体内部に持つことでこのジッター値を大幅に低減、通常のオーディオ機器に匹敵する高品位サウンドを実現しています。

■多彩なオーディオ機器を接続できる豊富な入出力端子とデジタルINオートセレクターの搭載

アナログ入出力はもちろんのこと、デジタル入力3系統、デジタル出力2系統を装備しました。ますます増えるデジタル機器も手軽に接続、多彩なソースをパソコンに録音したり※、パソコンで編集した音楽をオーディオ機器に録音することも簡単です。また3系統のデジタル入力端子から信号を検知して自動的に入力を切り替えるデジタルINオートセレクターを採用しています。
※SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）対応により著作権保護されたデータの録音はできません。

■オーディオセレクターとしても使用できるセルフパワー対応

ACアダプターからの完全セルフパワー給電でノートパソコンでも電源供給の心配をせずに使用できます。さらにはパソコンが起動していなくても他のオーディオ機器と組み合わせてオーディオセレクターとして動作させることが可能です。

■デジタル音楽データの音質を飛躍的に向上するVLSC®

独自開発のVLSC®は、一般的なロー・パス・フィルターでは完全に除去することができなかったパルス性ノイズを全く含まず、滑らかな音楽信号を生成することで、MP3などの圧縮音源はもちろんデジタル音楽の再生音質が飛躍的に向上しています。

■世界初！Gracenote社の「MusicID」技術に対応したCarryOn Music ver.4.00を標準バンドル

世界最大の楽曲データベースを運営するGracenote社の新技術「MusicID」に世界初で対応したCarryOn Music® ver.4.00を標準でバンドルしました。レコードやカセットなどのアナログ音源でも楽曲情報を取得することができ、アーティスト名や曲名を手入力する必要がありません。従来の楽曲データベース管理や専用リモコンを使用しての音楽再生、CDリッピング、外部機器からの録音、CD-R/RWライティング機能など、パソコンで音楽を楽しむあらゆるシーンに快適に対応する統合型デジタルオーディオソフトです。

- WAVIO（ウェイビオ）、VLSCの名称およびロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
- Windowsの正式名称はMicrosoft Windows Operating Systemです。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- MusicIDの名称はGracenote社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

♪ 音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

ご使用になる前に

接続する

パソコンの設定

再生する

録音する

その他

安全にお使いいただくために

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルを外し、ACアダプターをお使いの場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーは外さない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対に外さないでください。内部の点検・ 整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- ACアダプターをお使いになる場合は、表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。

■ 水のかかるところに置かない

- 風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、USBケーブルを外し、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ ACアダプターのコードを傷つけたり、加工しない

● ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● ACアダプターのコードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものを載せてしまうことがあります。

● ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルを外し、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら機器に触れない

● 雷が鳴り出したら、製品本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災・けがの原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台や、ぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

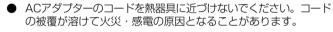
■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ ACアダプターの注意

- ACアダプターのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、ACアダプターを持って抜いてください。
- ACアダプターのコードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルを外し、必ずACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 本機に乗ったり、踏んだりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠注意

■電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■　点検・工事について

- お手入れの際は、安全のためUSBケーブルを外し、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- ACアダプターのプラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは中性洗剤を薄めた液に布を浸し、固く絞って拭きとった後、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

箱を開けたら、まず

ご使用の前に箱の中身をお確かめください。［　］内の数字は数量を表しています。

・SE-U55GX（本体）［1］

・リモコンRC-540P［1］
・乾電池 単三形［2］

※ リモコンは付属のCD-ROMに収録されているCarryOn Musicをインストールした場合にご利用いただけます。詳しいご利用方法については、「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

・光デジタルケーブル（1.0 m）［1］
・ミニジャックアダプター［1］

・オーディオ用ピンコード（0.8 m）［1］

・USBケーブル（1.0 m）［1］
パソコンと接続するケーブルです。

・ACアダプター［1］

・CarryOn Music取扱説明書［1］

・CD-ROM［1］

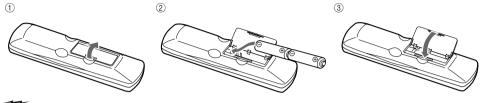
※ CD-ROMを開封する前に、必ず「CarryOn Music取扱説明書」の「ソフトウェア使用許諾契約について」のページをお読みください。

・取扱説明書（本書）［1］
・オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内［1］
・保証書［1］

※ カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。

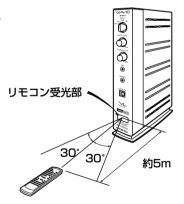
リモコンを準備する

乾電池の入れ方と交換のしかた

①　②　③

ご注意

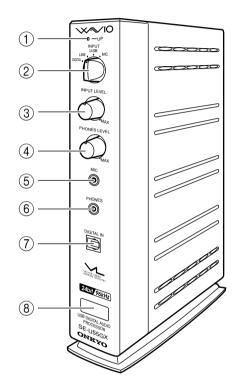
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属のマンガン電池の寿命は約6ヶ月です。電池の交換時には、単三形をご使用ください。

リモコンの使い方

SE-U55GXのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンでの操作は、別冊の「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

各部の名称と働き

前面

① USBインジケーター（UP）

消灯
本機の電源が入っていない状態です。

オレンジ色に点灯
本機の電源は入っていますが、USB接続がされていない状態、またはUSB接続しているパソコンの電源が入っていない状態です。本機単独での使用は可能です。

緑色に点灯
本機およびUSB接続しているパソコンの両方の電源が入っている状態です。

緑色とオレンジ色が交互に点灯
本機およびUSB接続しているパソコンの両方の電源は入っていますが、現在の入力切り替えスイッチ（INPUT）の位置では使えない状態です。一度、電源スイッチをオフにするか、USBケーブルをはずしてください。

ご注意

電源スイッチをオフにしたときは、2秒ほど待ってから電源スイッチをオンしてください。

② 入力切り替えスイッチ（INPUT）

USB：USB接続しているパソコンの音声を再生するときにこの位置にします。

DIGITAL（デジタル）：DIGITAL IN端子に接続した機器の音声を再生するときや録音するときにこの位置にします。

LINE（ライン）：ANALOG LINE INに接続した機器の音声を再生するときや録音するときにこの位置にします。

MIC（マイク）：MIC端子にマイクを接続してパソコンに音声を録音するときにこの位置にします。

③ 入力レベル調整つまみ（INPUT LEVEL）

録音するときに入力レベルを設定します。

④ ヘッドホンレベル調整つまみ（PHONES LEVEL）

ヘッドホンを接続しているときにヘッドホンの音量を調整します。

⑤ マイク入力端子（MIC）

モノラルミニプラグのマイクを接続します。

⑥ ヘッドホン端子（PHONES）

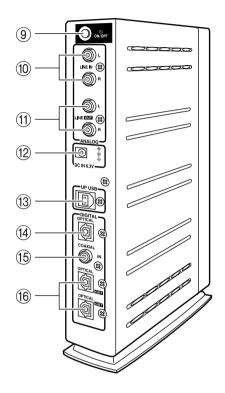
ステレオミニプラグのヘッドホンを接続します。

⑦ デジタル光入力端子（DIGITAL IN）

ポータブルMDレコーダーやCDレコーダーなどの光デジタル出力を接続します。

⑧ リモコン受光部

リモコンからの操作信号を受けます。

後面

⑨ **電源スイッチ（ON ▁/OFF ▄）**

本機の電源を入/切します。

⑩ **ライン入力端子（ANALOG LINE IN L/R）**

カセットデッキやフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなど、オーディオ機器のアナログ出力を接続します。

⑪ **ライン出力端子（ANALOG LINE OUT L/R）**

アンプ内蔵スピーカー等を接続します。

⑫ **DC IN端子（DC IN 6.3V）**

付属のACアダプターを接続します。

⑬ **USBアップポート（UP USB）**

パソコンのUSB端子と接続します。

⑭ **デジタル光入力端子（DIGITAL IN OPTICAL）**

CDプレーヤーなどの光デジタル出力を接続します。

⑮ **デジタル同軸入力端子（DIGITAL IN COAXIAL）**

CDプレーヤーなどの同軸デジタル出力を接続します。

⑯ **デジタル光出力端子（DIGITAL OUT OPTICAL）**

MDレコーダーやCDレコーダーなどの光デジタル入力を接続します。

パソコンの接続を始める前に

動作環境

対応機種
USB規格Rev.1.1に準拠したUSBポート標準装備のパソコン/AT互換機（Intel製USBホストコントローラー推奨）
本機は24bit/96kHzに対応しているため、USBバスの帯域を広く使用します。USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。

OS
Windows® XP* SP 1 またはSP1A以降日本語版、Windows 2000* SP3以降

* システム管理者権限（Administrator）でのみ使用可能です。

CPU（付属のCD-ROMを使用するときに必要な動作環境です。）
Intel® Celeron® 800MHz以上※（Intel® Pentium® III 800MHz以上推奨）

ハードディスク必要容量
インストール時200MB以上

※ 音声のデータサイズが大きいため、作業領域と保存用に数百MBの空き容量のあるハードディスクをお勧めします。
※ お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は多少異なります。

メモリ
Windows XP　256MB以上
Windows 2000　128MB以上

画面
解像度1024×768ピクセル以上、High Color以上

必要周辺機器
CD-ROMドライブ（または相当品）＋ハードディスク
CD-ROMドライブは付属のソフトウェアをインストールするために必要です。

※ 一部CD-ROMドライブで音楽CDを読み込めない場合があります。

Windowsについて
Windows日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

必要な動作環境を満たすパソコンであっても、パソコンシリーズ固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本製品の動作が正常に行われない機種があります。本製品の制限事項や動作確認情報についての詳細は、弊社ホームページ（http://www.wavio.net/）にてご確認ください。

本機をお使いいただくにあたって

本機をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、特に断りのない限り、Windows XPの操作をもとに書かれています。
- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本機を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。

接続する

USBパソコンオーディオシステム接続例

接続する

:信号の流れ

ON/OFF
LINE IN L R
LINE OUT L R
ANALOG
DC IN 6.3V
UP USB
DIGITAL OPTICAL
COAXIAL IN
OPTICAL OUT
OPTICAL OUT

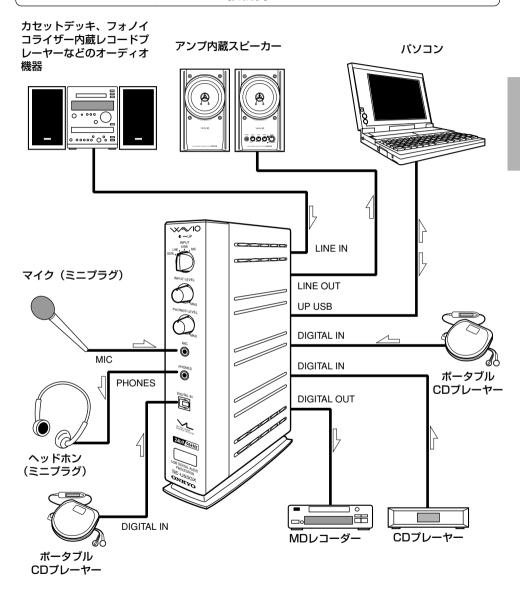
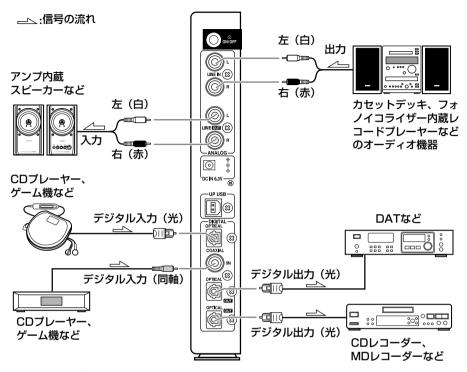
アンプ内蔵
スピーカーなど
左（白）
入力
右（赤）

左（白）
出力
右（赤）
カセットデッキ、フォノイコライザー内蔵レコードプレーヤーなどのオーディオ機器

CDプレーヤー、
ゲーム機など
デジタル入力（光）

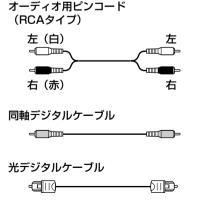
デジタル入力（同軸）
CDプレーヤー、
ゲーム機など

DATなど
デジタル出力（光）

デジタル出力（光）
CDレコーダー、
MDレコーダーなど

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- 後面パネルのDIGITAL IN OPTICAL端子、およびDIGITAL OUT端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取り付けておいてください。

  前面パネルのDIGITAL IN端子にはキャップは付いていません。（シャッタータイプですので、フタをそのまま奥へ倒すようにまっすぐに光デジタルケーブルを差し込んでください。ななめに差し込んだり抜いたりすると、フタが破損することがありますのでご注意ください。）

接続図では、使用する接続コードを次のように示します。

パソコンへ本機を接続する

1．付属のACアダプターを本機に接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

ご注意

付属のACアダプターは本機専用です。他の機器には絶対に使用しないでください。また、付属のACアダプター以外のものを本機に使用しないでください。本機の故障や火災の原因になることがあります。

2. 付属のUSBケーブルのAタイプのプラグ（ ）をパソコン本体のUSBポートへ接続します。

ヒント

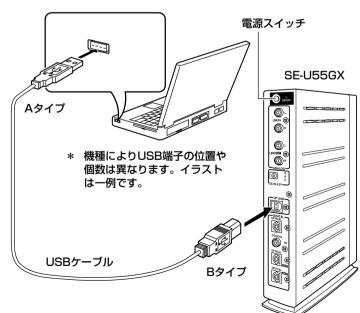
パソコンのUSBポートが2個以上ある場合はどのポートに接続しても構いません。

3. Bタイプのプラグ（ ）をSE-U55GXのUSBアップポート（UP USB）へ接続します。

4. 電源スイッチをONの位置にします。

5. 本機のドライバのインストールが始まります。

接続するパソコンのOSによって、下記のページをご覧ください。

- Windows XP→18ページ
- Windows 2000→20ページ

ご注意

端子の抜き差しをする場合にはスピーカーの音量を絞ってください。

パソコンの設定

ドライバのインストール ＜Windows XPの場合＞

1. パソコンの電源を入れ、Windowsが起動していることを確認します。

2. SE-U55GXのUSBケーブルを接続し、電源スイッチをONの位置にします。

   USBインジケーターが点灯します。パソコンがSE-U55GXを認識し、自動的に必要なドライバのインストールが始まります。この時、本機のUSBインジケーターが点灯しない場合は、本機がパソコンを認識していません。17ページを参照し、再度本機とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

3. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

4. 本機に付属のCD-ROMをパソコンにセットします。

5. 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」をチェックをして「参照」ボタンを押します。

6. 本機に付属のCD-ROMのDriverフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押します。

7. インストールが始まります。

※「Windowsロゴテストに合格していません」という警告メッセージが表示された場合は、**「続行」**をクリックしてインストールを進めてください。動作上、問題のないことを弊社では確認済みです。

「続行」ボタンを押します。

8. 正常にドライバがインストールされると、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: SEU55GX Device」とメッセージが表示されます。「完了」ボタンを押します。

♪ヒント

- USBケーブルをパソコンの他の端子に差し替えると、ドライバの再インストールを要求されます。この場合は、手順に従ってもう一度ドライバをインストールしてください。
- 万一インストールが進まない場合は、USBケーブルを抜き、15秒ほど待って再度USBケーブルを接続してください。それでもインストールが始まらない場合は、次の操作をしてください。

  ①「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。

  ②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

  ③ コントロールパネルの「システム」をクリックします。

  ④「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。

  ⑤「ハードウェアの追加ウィザード」ボタンを押します。

  以上の手順でインストールが始まりますので、画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

パソコンの設定

ドライバのインストール ＜Windows 2000の場合＞

1. パソコンの電源を入れ、Windowsが起動していることを確認します。

2. SE-U55GXのUSBケーブルを接続し、電源スイッチをONの位置にします。
   USBインジケーターが点灯します。パソコンがSE-U55GXを認識し、自動的に必要なドライバのインストールが始まります。この時、本機のUSBインジケーターが点灯しない場合は、本機がパソコンを認識していません。17ページを参照し、再度本機とパソコンが正しく接続されているか確認してください。

3. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

4. 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」が表示されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

5. 「ドライバファイルの特定」画面が表示されたら、「場所を指定」のみにチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。

6. 本機に付属のCD-ROMをパソコンにセットします。

7. 「参照」ボタンを押し、本機に付属のCD-ROMのDriverフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押します。

8. 「このデバイスのドライバが見つかりました。」とメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンを押し、インストールを開始します。

9. 正常にドライバがインストールされると、「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」とメッセージが表示されます。「完了」ボタンを押します。

ドライバのインストールを確認する

1.　システムのプロパティからデバイスマネージャを開きます。

＜Windows XPの場合＞

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4.「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5.「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

＜Windows 2000の場合＞

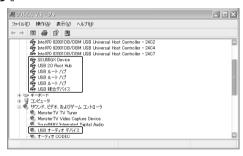
1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2. 「ハードウェア」タブを選択します。
3. 「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

2.　以下のデバイス名があることを確認します。

「USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ」の「+」をクリックする

- SEU55GX Device
- USB複合デバイス

「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」の「+」をクリックする

- USBオーディオデバイス（USB Audio Device）

※　画面は、パソコンの設定や状況によって順番等が異なる場合があります。

パソコンの設定

オーディオデバイスを確認する

1.　オーディオデバイスを確認するパネルを開きます。

＜Windows XPの場合＞

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。
4.「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウを開きます。

＜Windows 2000の場合＞

1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開きます。

2.　「オーディオ」タブを選択します。

3.　「音の再生」と、「録音」の「既定のデバイス」が「SE-U55GX　Audio」になっていることを確認します。異なる場合は変更してください。

Windows 2000の場合は、
「音の再生」は「再生」、
「既定のデバイス」は「優先するデバイス」、
「SE-U55GX Audio」は「USBオーディオデバイス」
となっています。

4.　「OK」ボタンを押します。

確認したら、「OK」を押して閉じる

音楽CDを再生するための設定をする

1.　「マルチメディアのプロパティ」画面（もしくは「DVD/CD-ROMドライブのプロパティ画面」）を開きます。

＜Windows XPの場合＞

1.「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2.「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
3.コントロールパネルの「システム」をクリックします。
4.「システムのプロパティ」ウィンドウで、「ハードウェア」タブを選択します。
5.「デバイスマネージャ」ボタンを押します。
6.音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

ダブルクリック

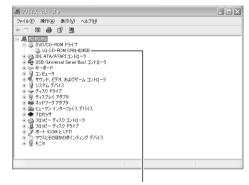
＜Windows 2000の場合＞

1.「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」を開きます。
2.「ハードウェア」タブを選択します。
3.「デバイスマネージャ」ボタンを押します。
4.音楽CDを再生するCD-ROMドライブをダブルクリックし、「プロパティ」タブを選択します。

2.　「このCD-ROMデバイスで･･･」にチェックマークを入れます。

3.　「OK」ボタンを押します。

チェックマークを入れる

パソコンの設定

ボリュームコントロールの設定

1. ボリュームコントロールを開きます。

お使いのパソコン環境によっては、ミキサーコントロール等の名前の場合もあります。

<Windows XPの場合>

1. 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックします。
3. コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。
4. 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、「オーディオ」タブを選択します。
5. 「音の再生」の「音量」ボタンを押します。

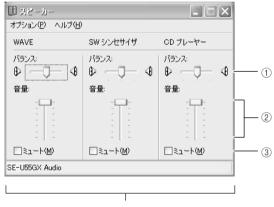
<Windows 2000の場合>

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開きます。
2. 「オーディオ」タブを選択します。
3. 「音の再生」の「音量」ボタンを押します。

2. 調整します。

① **バランス**
左右の出力バランスを変更します。

② **音量スライダー**
再生ボリュームをお好みの位置にしてください。

③ **ミュート**
再生の音声を消すときはチェックボックスにチェックをつけます。

音声の種類

♪ヒント

- ボリュームコントロールは、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」でも開くことができます。
  Windows 2000の場合は、「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」でも開くことができます。
- 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ウィンドウで、「音量」タブの「タスクバーに音量アイコンを配置する」にチェックを入れると、ボリュームコントロールがタスクバーに表示されるようになります。
  Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開き、「サウンド」タブで「タスクバーにボリュームコントロールを表示する」にチェックを入れると、タスクバーに表示されるようになります。

入力切り替えスイッチ（INPUT）の使い方

SE-U55GXでは入力切り替えスイッチ（INPUT）を使って、接続された外部機器の再生・録音やパソコン音声の再生を切り替えます。

■ 各ポジションの名称と機能は次の通りです。

	パソコン音声のモニター	外部機器のモニターと録音	サウンド形式
USB	○	×	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　出力のみ
LINE	×	○（LINE入力のみ）	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　入力のみ
DIGITAL	×	○（DIGITAL入力のみ）	16bit,24bit/44.1k,48k,96kHz　入力のみ
MIC	○	○（MIC入力のみ）	16bit/48kHz　入出力

ご注意

MIC入力音声はDIGITAL OUT端子からは出力されません。

■ 入力切り替え時のUSBインジケータ点滅について

入力切り替えスイッチを操作した後にUSBインジケータが点滅する場合があります。この現象はUSB/LINE/DIGITAL（24bit/96kHz）のいずれかのポジションからMIC（16bit/48kHz）に切り替えた場合、もしくはその逆の操作を行った場合に起こります。

USB/LINE/DIGITAL →→→ USBインジケータ点滅 →→→ MIC
USB/LINE/DIGITAL ←←← USBインジケータ点滅 ←←← MIC

これは入力切り替え後にSE-U55GXのリセットが必要であることを表していますので、USBインジケータが点滅した場合は、SE-U55GXの電源を入れ直すかUSBケーブルの抜き差しをしてください。これによりUSBインジケータは点滅しなくなります。

接続している機器の音声を楽しむ

本機は、パソコンが起動していなくても他のオーディオ機器と組み合わせてオーディオセレクターとして動作させることもできます。

デジタル入力に接続されている機器の音声を楽しむ

1. SE-U55GXに再生機器が正しく接続されているか確認します。
2. INPUTスイッチを「DIGITAL」にします。

本機はデジタルイン・オートセレクター機能を搭載しています。接続された機器の信号を検知して入力を選択します。次の優先順位でデジタル入力が検知されます。
1. 前面パネルのDIGITAL IN
2. 後面パネルのOPTICAL IN
3. 後面パネルのCOAXIAL IN

ご注意

接続されている機器が再生してなくても、デジタル信号が出力されていることがあります。この場合、その機器より優先順序の低い端子に接続された機器の音は再生されません。このような場合は、優先順序が高い機器の電源をオフにしてください。

3. 機器の再生を始めます。

アナログ入力に接続されている機器の音声を楽しむ

1. SE-U55GXに再生機器が正しく接続されているか確認します。
2. INPUTスイッチを「LINE」にします。

3. 機器の再生を始めます。
4. INPUT LEVELつまみで音量を調整します。

パソコンに保存した音楽ファイルを聞く

1. SE-U55GXとパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか確認し、電源スイッチをONの位置にします。（→17ページ参照）

2. INPUTスイッチを「USB」側にします。

   正しく接続されていると、SE-U55GXのUSBインジケーターが緑色に点灯します。

   USBインジケータが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

3. スピーカーで聞く場合は、SE-U55GXにアンプ内蔵スピーカーを接続します。
   （→15ページ参照）
   ヘッドホンで聞く場合は、ヘッドホンをSE-U55GXのPHONES端子に接続します。
   （→15ページ参照）

ご注意

- サウンド機能を実装済みで直接パソコン本体にスピーカーが接続されているような場合、SE-U55GXに入力された音声をそのスピーカーでモニターすることはできません。
- USBケーブル以外の接続をするときは、接続する機器の電源を切ってから行ってください。

4. CarryOn MusicやWindowsに付属のWindows Media Playerなどで再生します。

再生のしかた

CarryOn Music（キャリオン・ミュージック）について

- 世界初！Gracenote社の「MusicID」技術に対応、アナログ音源からの録音時も楽曲のタイトル取得が可能
- 外部録音から編集、楽曲情報取得、データベース登録まで快適なLINE PANEL
- 24bit/192kHzに完全対応＆MP3Pro, WMA9, Ogg Vorbis等多彩な対応フォーマットに対応
- 操作性の向上を図った新しいパネルデザイン
- 音楽再生はSE-U55GXに付属のリモコンで快適操作

「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。
また、CarryOn Musicの最新情報についてはこちらをご覧ください。
（http://www.wavio.net/）（2004年6月現在）

用語解説

MP3（MPEG Audio Layer3）ファイルとは?

音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
Windowsの代表的な音楽ファイル形式WAVEなどと比較すると、ファイル容量が1/10程度に圧縮され、音質もほとんど劣化しないのが特長といわれています。

WAVファイルとは?

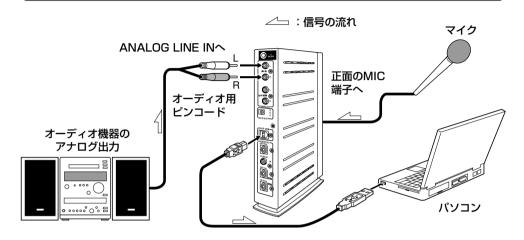
Windowsで標準的な音楽ファイルの形式。WAVEファイルと同じ。
音声データをサンプリングして、パソコン用のデータとして保存したファイルのことです。

WMA（Windows Media Audio）ファイルとは?

Microsoft社が開発した音楽ファイルの圧縮フォーマットのひとつ。
音楽CDに迫る音質と、デジタル著作権を主張できることが特長になっています。

録音のしかた

※あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

マイクやライン入力のアナログ音声をパソコンに録音する

1. アナログ再生させる機器を図のようにSE-U55GX本体に接続します。

   レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーを通して接続するか、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーをお使いください。

2. SE-U55GX本体のINPUTスイッチを録音するソースに合わせ、「LINE」または「MIC」に切り替えます。

   USBインジケーターが緑色に点灯しているかご確認ください。

USBインジケータが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

3. 本機に付属の「CarryOn Music」を起動し、 LINEパネルを選択します。

4. パネル左下の「SETTING」をクリックし、ライン入力録音タブを選択します。

   保存ファイルの項目で、録音したいファイル形式（MP3またはWAVE）などを設定します。

5. 録音ボタンをクリックして、録音待機状態にします。

6. 試しに録音するソースを再生し、レベルモニタ画面を見ながらINPUT LEVELつまみで録音レベルを調節します。

7. 再生または一時停止ボタンをクリックすると録音が開始されます。同時に録音したい音源の再生を行ってください。

8. 停止ボタンをクリックすると録音が終了します。

停止ボタン　録音ボタン

警告

録音中にINPUTスイッチを切り替えないください。

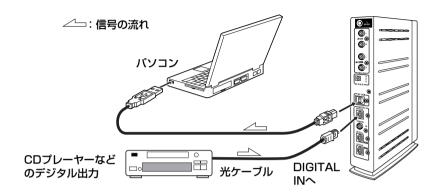
CarryOn Musicの使い方については、「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

ご注意

CarryOn Music以外のサウンド編集ソフトで録音作業をする場合は、ソフトによってはUSBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。

ヒント

INPUTスイッチが「MIC」の位置にある場合は、パソコンからの再生とMIC入力からの録音を同時に行うことができます。（→29ページ参照）

CDやMDのデジタル音声をパソコンに録音する

1. デジタル再生させる機器を図のようにSE-U55GX本体に接続します。

2. SE-U55GX本体のINPUTスイッチを、「DIGITAL」に切り替えます。

USBインジケーターが緑色に点灯しているかご確認ください。
USBインジケーターが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

本機はデジタルイン・オートセレクター機能を搭載しています。接続された機器の信号を検知して入力を選択します。次の優先順位でデジタル入力が検知されます。

1. 前面パネルのDIGITAL IN
2. 後面パネルのOPTICAL IN
3. 後面パネルのCOAXIAL IN

接続されている機器が再生してなくても、デジタル信号が出力されていることがあります。この場合、その機器より優先順序の低い端子に接続された機器の音は再生されません。このような場合は、優先順序が高い機器の電源をオフにしてください。

4. 本機に付属の「CarryOn Music」を起動し、 LINEパネルを選択します。

5. パネル左下の「SETTING」をクリックし、ライン入力録音タブを選択します。

   保存ファイルの項目で、録音したいファイル形式（MP3またはWAVE）などを設定します。

6. 録音ボタンをクリックして、録音待機状態にします。

7. 再生または一時停止ボタンをクリックすると録音が開始されます。同時に録音したい音源の再生を行ってください。

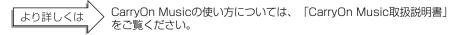
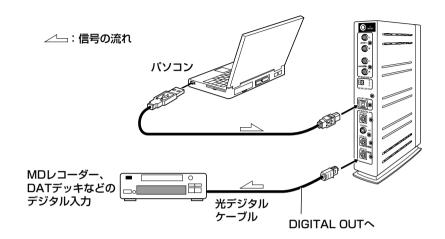
8. 停止ボタンをクリックすると録音が終了します。

ご注意

- 著作権保護された音声信号はデジタル入力からは入力されません。アナログ入力でご利用ください。
- INPUTスイッチがDIGITALまたはLINEの場合、パソコンからの音声は出力されません。

CarryOn Music以外のソフトウェアで録音するときのご注意

- サウンド編集ソフトによっては、USBによる音声入出力をサポートしていない場合があります。あらかじめご利用されるサウンド編集ソフトの開発元に確認してください。
- SE-U55GXでデジタル信号を録音する場合、DIGITAL INに入力されるデジタル信号のサンプリング周波数/ビット数/チャンネル数（モノラル/ステレオ）と、録音ソフトの設定を同じにする必要があります。CDやMDから録音するときは、一般に44.1kHz、16bit、ステレオに設定してください。CarryOn Musicでは、SE-U55GXを使用するとサンプリング周波数が自動的に設定されます。

CarryOn Musicの使い方については、「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

パソコンからMDやDATへデジタル音声を録音する

1. 接続するデジタル機器を図のようにSE-U55GX本体に接続します。

2. INPUTスイッチを「USB」に切り替えます。

   USBインジケーターが緑色に点灯しているかご確認ください。
   USBインジケーターが点滅するときは、一度電源スイッチをオフにしてください。または、一度USBケーブルを抜いてください。

3. 本機に付属の「CarryOn　Music」でパソコンの中の目的の音声を再生し、ご利用のデジタル入力ができる録音機器で録音してください。

   （再生の方法は「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。）

ご注意

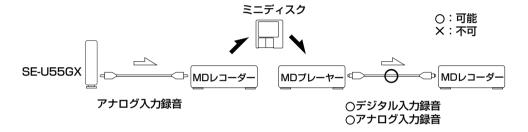
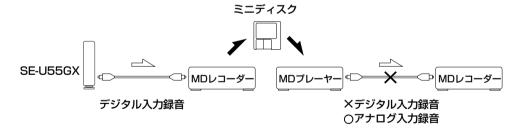
- INPUTスイッチが「DIGITAL」に設定されているとデジタルアウトからは「DIGITAL」への入力信号がモニター出力されます。パソコンのアプリケーションソフトウェアからの音声をデジタル出力する場合には「USB」を選択してください。
- MICから入力されたアナログ音声はリアルタイムでそのままデジタル端子からは出力されません。この場合、一旦WAVEファイルなどに保存してから出力を行ってください。
- コピーガードシステムにより録音できない場合もあります。34、35ページをご覧ください。

CarryOn Musicの使い方については、「CarryOn Music取扱説明書」をご覧ください。

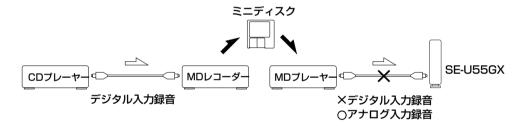
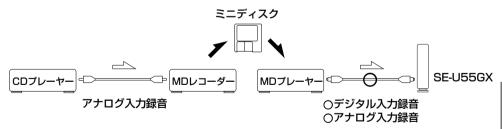
コピーガードシステムについて

本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しています。
このシステムはデジタル信号をデジタル信号のまま録音することが可能ですが、後述の制限事項があります。
また、この制限事項は著作権の保護を目的としており、著作権を侵害するような動作を制限するために設けられています。ここではMDを例に説明しています。

- **本機のデジタル出力からMDやDATなどにデジタル録音した信号は、デジタル信号のまま他のメディアに録音することはできません。**

1. パソコンに記録されている音声データを一旦アナログ信号として録音したMDからデジタル信号としてMDレコーダーに入力することは可能です。

2. 本機からデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、MDプレーヤーへデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。

- **CDやMD、DATなどデジタル信号で音声データを記録しているメディアから本機のデジタル入力端子に直接デジタル信号を入力することができます。**
  ただし、一度デジタル信号からデジタル信号のまま録音された音声データを本機に入力した場合、録音はできません。

1. CDから直接デジタル信号で入力された音声データは、本機へデジタル入力することができ、録音・モニター出力も可能です。

2. CDからデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、本機へデジタル信号のまま録音することはできません。録音する場合はアナログ信号として入力してください。

3. CDに記録されている音声データを一旦アナログ信号として録音したMDからデジタル信号として本機に入力することは可能です。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
機器を認識しない。	• 接続が不完全。	• 取扱説明書の「接続する」を参照して、USBケーブルを通じて機器をパソコンに確実に接続してください。
INPUTスイッチを切り替えた時にパソコンが不安定になる。	• 音声出力を行ったまま切り替えを行った。	• INPUTスイッチを切り替える時は、音声出力を停止してください。
音声が出ない。	• ミュートされている。	• ボリュームコントロールを開き、ミュートのチェックを外します。（☞24ページ）
	• 出力レベルが小さい。	• ボリュームコントロールを開き、ボリュームをすべて最大値に設定します。（☞24ページ）
	• 他の音声出力デバイスが使用されている。	• コントロールパネルから「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開き、音の再生で「既定のデバイス（もしくは「優先するデバイス」）」として「SE-U55GX Audio（もしくは「USBオーディオデバイス」）」を選択してください。
	• 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• LINE OUT端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。
	• INPUTスイッチが「USB」、「LINE」または「DIGITAL」でパソコンに接続した後、INPUTスイッチを「MIC」で使っている（USBインジケータが点滅している）	• INPUTスイッチを「USB」にしてください。マイクの音声を同時に使いたいときは、INPUTスイッチをMICのまま、電源スイッチを一度オフにして、数秒待ってからオンにしてください（USBインジケータが緑色に点灯します）。
パソコン内蔵スピーカーから音声が出ない。	• USBオーディオデバイスが優先されている。	• USBオーディオデバイスが優先されているため、内蔵スピーカーからは音声が出力されません。内蔵スピーカーから一時的に音声を出力させるためには、本機からUSBケーブルを抜いてください。内蔵スピーカーのご使用後はUSBケーブルを再度接続してください。
ヘッドホンが聞こえない。	• ヘッドホンボリュームが下がっている。	• ヘッドホンレベル調整つまみで音量を調整できます。最適な音量になるようつまみを調整してください。それでも聞こえない場合、「音声が出ない」の項を参照してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。	• ボリュームコントロールを開き、バランスを調整してください。（☞24ページ）
	• 外部アンプまたはスピーカーに問題がある。	• 接続している外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。

症状	原因	処置
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• システムがCD-ROMドライブからのデジタル音声ストリームに対応していない場合、USB経由ではCD-ROMドライブから出力された音声は出力されません。このような場合は、CD-ROMドライブの音声出力（ヘッドホン出力等）をライン入力に接続し、音量を適当な値に調節してください。
ゲームのBGMが出力されない。	• BGMにCD出力が使用されている。	• 「CD-ROMドライブからの音声が出力されない」の項目を参照してください。
マイク音声が入力できない。	• マイクの接続が不完全。 • マイクの適合性に問題がある。 • 入力レベルが下がっている。 • INPUTスイッチがMICになっていない。	• マイクを確実に接続してください。 • ミニプラグのマイクをご使用ください。 • INPUT LEVELつまみで入力レベルを調整してください。 • INPUTスイッチをMICに合わせてください。
ライン音声が入力できない。	• ライン入力の接続が不完全。 • 外部機器から音声が出力されていない。 • ライン入力ボリュームが小さい。 • レコードプレーヤーを直接接続している。 • INPUTスイッチの設定を間違っている。	• 外部からライン入力（ANALOG LINE IN）に確実に接続してください。外部機器に問題がない場合はケーブルをご確認ください。 • 外部機器から音声が出力されているかどうか確認してください。 • INPUT LEVELつまみを適切な位置に調整してください。 • レコードプレーヤーを本機に直接接続することはできません。お手持ちのレコードプレーヤーおよびカートリッジに合わせたイコライザーアンプを通して接続してください。 • INPUTスイッチをLINEに設定してください。DIGITALでは、LINE OUT、PHONESには出力されますが録音できません。
デジタル出力が外部機器に入力されない。	• 外部機器のサンプリング周波数が適合していない。 • 外部機器との接続に問題がある。	• お手持ちの機器の取扱説明書を参照して、出力サンプリング周波数に対応しているかどうかお確かめください。 • 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合はケーブルをお確かめください。
パソコンの音声がデジタル出力されない。	• INPUTスイッチの設定違い。	• INPUTスイッチをUSBに設定してください。「デジタル出力が外部機器に入力されない」の項を参照してください。
録音できない。	• 他の音声入力デバイスが使用されている。	• コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開き「録音」の「既定のデバイス」から「USBオーディオデバイス」を選択してください。それでも録音できない時は「既定のデバイスのみを使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
デジタル入力信号が録音できない。	• INPUTスイッチの設定違い。	• INPUTスイッチをDIGITALに設定してください
	• 入力信号がコピーガードされている。	• 本機のデジタル入力はコピーガードシステムにより保護されているため、コピー不可に設定されているデジタル信号は録音できません。(☞34、35ページ)
	• 本機が対応していないサンプリング周波数の信号が入力されている。	• 本機が対応しているサンプリング周波数は、44.1/48/96kHzです。この周波数以外のデジタル信号は録音できません。
	• 外部機器との接続に問題がある。	• 外部機器と確実に接続されているかどうかお確かめください。外部機器に問題がない場合は、ケーブルをお確かめください。
マイクの音声が録音できない。	• INPUTスイッチが「MIC」になっていない。	• INPUTスイッチを「MIC」にしてください。
	• INPUTスイッチを「MIC」以外でパソコンに接続した後、INPUTスイッチを「MIC」で使っている(USBインジケータが点滅している)。	• 電源スイッチを一度オフにして、数秒待ってからオンにしてください(USBインジケータが緑色に点灯します)
音が途切れる。	• 音声出力、入力中に負荷のかかる作業を行っている。	• 特に録音をされる場合には、CPUに負担のかかる作業は控えてください。
	• 音声出力、入力中に他のUSB機器を抜き差しした。	• 音声の再生·録音中に他のUSB機器を抜き差しすると、音声が途切れることがあります。
	• CPUの処理が再生や録音に追いついていない。	• CPUが推奨スペックを満たしていない場合は、期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合には音が途切れることがあります。この場合は、他のアプリケーションをすべて終了させてください。また、録音の際のエンコード速度やフォーマットを変えて試してみてください。
	• 本機をHUBに接続している	• 本機は24bit/96kHzに対応しているため、USBバスの帯域を広く使用します。USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。
雑音が多い。	• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	• テレビなどから十分に離して置いてください。
	• マイクから雑音が入力されている。	• マイクから雑音を拾うことがありますので、マイクを使用しないときは、INPUTスイッチをMIC以外に設定してください。
	• 各入出力端子の接続が不完全。	• 本書16ページを参照して確実に接続してください。

製品の故障により、正常に録音ができなかったことによって生じた損害(CDのレンタル料等)については保証対象になりませんので、大事な録音をされるときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　SE-U55GX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

※SE-U55GX用のお客様登録用シリアルNo.は、本体背面に記載されています。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
（全国どこからでも市内料金で通話いただけます）
または 072-831-8111（携帯電話、PHS から）

サポート時間：月～金曜日
（土日祝、弊社休日を除く）
9:30 ～ 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.onkyo.com/jp/
http://www.wavio.net/
をご参照ください。

主な仕様

形式：	USBデジタルオーディオプロセッサー
接続方式：	USB 1.1
サンプリング周波数	
デジタル入力：	44.1/48/96kHz 対応
デジタル出力：	44.1/48/96kHz
周波数特性：	0.3Hz～44kHz（＋0/－0.5dB、ライン出力）
SN比：	110dB（A-フィルタ、ライン出力）
ライン出力レベル：	2.0Vrms
ライン入力レベル：	250mVrms
マイク入力感度：	5.0mVrms
電源*：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	2W
外形寸法（幅×高さ×奥行）：	62×216×166mm
質量：	0.6kg

*印は電源アダプター（AD-014 ADO 6.3J使用時）

※　仕様および外観は予告なく変更することがあります。

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター

ナビダイヤル☎0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）

または☎072(831)8111（携帯電話、PHSから）

http://www.onkyo.com/jp/
http://www.wavio.net/

Printed in Japan

D0406-1

SN 29343710